

あいう屋(のたより)

12月

発行責任者 堤 敏博

【校長室より】

「修学旅行—新しいつながりが生まれた旅—」

校長 堤 敏博

12月2日(月)～6日(金)に実施した修学旅行は、天候にも恵まれ、参加生徒全員が4泊5日の行程を全うすることができました。生徒諸君は、多くの経験と出会いを通して自分の世界を広げることができ「新しいつながりが生まれた旅」となったようです。

本年度の修学旅行の目的は、以下の4つです。

- (1) 五島を離れ、様々な施設や職業人にふれることで、進路開拓の視野を広げる。
- (2) 健康・安全を第一に、周囲を思いやり、責任と秩序ある行動で実り多い旅行にする。
- (3) 生徒自身で計画・準備を行い、現地では自主的に活動することで、自ら考える力を身につける。
- (4) 生徒相互および教師と生徒の信頼関係を、これまで以上に深める。

この4つの目標を踏まえ、11月29日の修学旅行結団式において、生徒に「非日常の経験や新しい出会いが脳の神経回路を充実させること」について確認し、「受け身ではなく能動的に、主体的な視点を大切にしながら学ぶこと」をお願いしました。

本年度の修学旅行の特色は、多くの人との関わりを通して、本校で実施している総合的な探究の時間「バラモンプラン」と進路学習との連携を強化することです。11月6日に実施した「バラモンプラン発表会」では、テーマ別に普通科のクラスを超えて編成した全ての班が、五島が抱える課題とその解決策について、探究の成果をプレゼンテーションやポスターセッションの形式で発表しました。また、衛生看護科の生徒達は10月に戴帽式を終え、「臨地看護実習」をスタートさせています。進路意識が高まっているこの時期に、企業や関係機関への訪問研修等を2日間にわたって行ない、各生徒が訪れる場所も複数箇所となるように計画しました。特に3日目の「バラモンプランin TOKYO」という新たなプログラムでは、社会の第一線で活躍されている、本校を卒業して10年程度の若い先輩方にお越しいただきました。パネルディスカッション形式での講話、意見交換を行いました。同じ五島高校で3年間を過ごされた先輩の現況や考え方を直接に伺ったことで、とても有意義なひとときとなりました。また、衛生看護科の生徒は板橋中央看護専門学校、総合病院を訪問し、院内の見学や実習を行うことで新たな知見を得ることができました。生徒諸君はこれらの研修を通して、多くの人と出会い、自分の将来を見渡す広い視野を獲得できたことと思います。

このような機会を与えていただいた各事業所や関係機関の方々には深くお礼を申し上げます。特に、3日目の夜にご講演をいただいた、本校OBで東京石城会でも会長としてご活躍いただいている高橋 徹様、職場訪問でお世話をいただいた、本校OBで第一高周波工業管理部長の平原 勝様には、たいへんお世話になりました。ありがとうございました。

修学旅行2日目の班別自主研修、4日目の東京ディズニーランド散策も日常から脱した経験として大きな思い出になったことと思います。今回の修学旅行が、これからの高校生活を後押しし、卒業後も大きな支えとなることを祈念しつつ、2年生の今後の活躍を見守りたいと思います。



2学年修学旅行を終えて

2学年主任 本多 優子

2学年は12月2日（月）から6日（金）の4泊5日の日程で東京へ修学旅行に行ってきました。2日目の班別自主研修では、行動計画をもとに都内を回りました。翌日、衛生看護科は専門学校見学や病院実習を行い、進路への意識を高めることができました。一方、普通科の生徒達はバラモンプランでのプロジェクト発表を行い、社会人からアドバイスを頂きました。更に、午後は留学生と共に浅草周辺を散策し、英語でのコミュニケーションを楽しみました。夜は同窓会の方の講話を聞き、学校生活やこれからの人生を歩んでいく上での心構えについて知ることができました。4日目は江戸東京博物館で江戸時代から現代までの東京について学び、ディズニーランドでも仲間たちと楽しい思い出を作ることができました。この修学旅行をこれからの学校生活に生かして欲しいと思います。



生徒の声

東京という日本の要または世界の要となる場所で働くことは素晴らしいことだと思います。私も日本の多くの人たちの支えとなるような仕事をしたいと思っていますので、このように日々日本と大きく関わっていける東京で働きたいと一つ自分の中で決心することができました。



実際、東京で行動した事が私の大きな成長にはなっていないかもしれないけど、初めての事をたくさん経験できた事は、いずれ五島を出る時を考えれば、大きな参考になったと思います。あと、同室や同じ班の子と5日間ずっと一緒に過ごせたことで、皆の意外な一面を見れたり、私も素の自分を出せたり、なにより距離が縮まったことが私にとって一番嬉しかったです。



五島では味わうことのできないJR・地下鉄や人の多さを味わいました。人が多くてさまざまな人が行きかう所だからこそ、通行は右側や、エスカレーターでは1列になるなどルールが決められていて、それを一人一人が守ることでスムーズに移動ができていくということにも気づきました。ディズニーで働くキャストさんのすごさにも驚きました。1日中ずっと笑顔でキャストさんたち自身も楽しみながら、細かく丁寧な心づかいもあって、ここまで質の高いサービスを提供するには本当に多くの苦労と努力があるのだと思いました。ただそれを表に出さず懸命に仕事を頑張っている姿を見て私もこんなふうにならなりたいと思います。



11月23日（土）五島地区PTA研修会

本校メモリアルホールにて、『生まれ育った郷土を愛し、自立心を持った子どもたちの育成を目指して』というテーマのもと、五島地区PTA研修会が行われました。五島地区の高校・特別支援学校から、200名を超える保護者や教職員の方々が参加されました。理学療法士で、KARADA CONDITIONING “THANKS” 代表の杉野伸治様を講師にお迎えし、子どもの心とからだの成長について講話をして頂きました。子どもの健全育成に関する取組の発表もあり、非常に充実した研修会となりました。



【スポーツコース】 乗馬・ゴルフ実習

9月～10月にかけて乗馬実習、11月～1月にかけてゴルフ実習を行います。これにはスポーツコース3年生の生徒20名が参加します。毎年、乗馬実習は、五島自動車学校様、ゴルフ実習は五島カントリークラブ様のご厚意により実施させていただいております。乗馬実習では馬事管理部長の原様のご指導のもと、正しい乗馬の姿勢や方法、また馬のお世話等、教えていただきました。ゴルフ実習では支配人の今村様のご指導のもと、ゴルフクラブの握り方からご指導いただき、現在打ちっぱなし練習場で猛特訓中です。今後は実際のコースに出てラウンド練習を行う予定です。この経験を、生涯にわたって豊かなスポーツライフを実現するためのきっかけの1つにすることができればと思っています。ご協力いただきました五島自動車学校様、五島カントリークラブ様にお礼を申し上げます。



剣道部 九州大会出場！

剣道部男子は、先月行われた長崎県高等学校新人体育大会剣道競技において、男子団体戦の部で第3位に入賞し、2月に鹿児島県国分市で行われる九州高等学校選抜剣道大会に長崎県代表として出場します。日頃から取り組んでいる練習の成果を十分に発揮して、九州の強豪校や名門校を相手に、最後まで絶対に勝負をあきらめない試合を一戦一戦、全力で戦ってきたいと思っています。みなさんの五島からの応援をよろしくお願い致します。

柔道部 九州大会出場！

この度、柔道部は11月9日(土)・10日(日)に宮崎県ツブキ武道館で開催された第23回九州高等学校新人柔道大会に長崎県代表として男子団体戦・女子個人戦に出場することができました。上位入賞を目標にしていたのですが、入賞する事ができず、悔しい結果となってしまいこの悔しさを胸に、次の目標に向かって精進してまいります。応援ありがとうございました。

芸術科学習発表会

12月13日(金)本校メモリアルホールにおいて、1年生の芸術科学習発表会を行いました。音楽選択者はクラス合唱や学年全体での合唱を披露しました。発表会までの準備期間は2学期期末考査を含む一ヶ月と短く、少ない授業数の中でどのクラスも大変苦労しながら練習に取り組みました。当日は、今まで練習したことを発揮し、クラス一丸となって堂々と発表を行うことができました。音楽選択者は今回の芸術科学習発表会を通じて、自分の声と他人の声に関心を持ち、お互いの相違点を見つけ、より良い表現を追求していく姿勢を学びました。美術選択者は、『自画像』『静物デッサン』『風景画』の3種類の作品を、2階会議室・調理室の前に展示しました。4クラス合わせて43名という少ない人数ですが、一人一人が自分自身、あるいは静物、風景とじっくり向き合って生まれた作品です。『風景画』については、この作品をベースにして、水彩絵具で彩色していく予定です。制作を通して、五島高校の魅力を変えて感じ、五島高校により愛着を持ってほしいと思っています。普段は交流のない音楽選択者と美術選択者ですが、今回の発表会で双方共に芸術的感性を磨き、今後の人生をより豊かなものにしてほしいと願っています。



【衛生看護科】

施設実習

12月2日～12月9日の6日間、後期の施設実習を行ってきました。初日は緊張した表情でしたが、食事、排泄、入浴などの日常生活の援助を行うに連れ、利用者様と打ち解け徐々に距離を縮めることができました。実習最終日には、利用者様が顔を近くに寄せ、「ありがとうね」と生徒に声を掛けて下さる姿が印象的でした。多くの援助を通して成長した面、そして今後の課題も見てきた実習となりました。実習を快く受け入れて頂きました施設の皆様に感謝申し上げます。

